



# 【地域とともに歩む 企業のチカラ】

## 粕屋町から全国へ、食を支える イフジ産業株式会社

このコーナーでは、普段は見ることのできない、地域を支える企業の「仕事の裏側」に迫ります。知られざる技術や、仕事に対する熱い想い、そして未来への展望を深掘りします。

私たちが日々口にしているパンやお菓子、冷凍食品。その多くに欠かせない「卵」を、実は目に見えないところで支えている企業があります。

粕屋町に本社を構えるイフジ産業株式会社は、「液卵」と呼ばれる加工卵を製造・供給する、国内有数の原料メーカーです。

今回は、同社代表取締役社長の藤井宗徳氏に、事業内容や品質へのこだわり、粕屋町への想い、そして今後の展望についてお話を伺いました。

### 知らず知らずのうちに食べている「液卵」

イフジ産業が手がけているのは、殻付き卵の中身だけを取り出し、用途に応じて加工した「液卵」です。液卵は一般のスーパーで見かけることはほとんどありませんが、パンや洋菓子、総菜、冷凍食品など、さまざまな食品づくりに使われています。

製パンメーカーや菓子メーカー、冷凍食品メーカーなど、全国の食品メーカーに原料として供給されており、私たちが普段何気なく口にしている食品の中にも、同社の液卵が使われています。

「当社の名前や“液卵”という言葉を知らない方でも、卵アレルギーでなければ、ほとんどの方が一度は当社の液卵を口にしていると思います」

こう語る同社は、液卵を「食の半導体」と表現します。目立たないけれど、なくてはならない存在。その言葉どおり、年間に使用する卵は約 14 億個、重量にすると約 7 万 5,000 トン。独立系の液卵メー

カーとしては、日本トップクラスの規模を誇ります。

### 全国を見据えた創業と成長の歩み

イフジ産業が創業したのは 1972 年。粕屋町で事業をスタートさせた翌年には、東京と大阪に営業所を開設しました。

「最初から“福岡だけの会社”で終わるつもりはありませんでした。創業当初から全国展開を目指していました」

当時としては珍しい、地方発・全国志向の経営判断。高度経済成長期を経て、加工食品やスーパーマーケットが広がる中で、「これからは食品メーカーの時代。その原料である卵も必ず伸びる」と、鶏卵業から液卵事業へと大きく舵を切ったことが、現在の礎となっています。

### 卵を扱う企業だからこそその徹底した品質管理

卵は栄養価が高い一方で、非常に傷みやすい食品です。そのため、イフジ産業では安全性の確保を最優先事項として、製造工程のすべてに細心の注意を払っています。

殻を割った卵は、わずかな時間でも菌が増殖しやすくなります。そのため、割卵後はすぐに冷却し、3 分以内に 5 度以下まで冷却。製造ラインの徹底した清掃や温度管理を行い、サルモネラ菌や大腸菌群などのリスクを防いでいます。



「入社 1 年目の私にも挑戦の機会を与えてもらえ、社長も密め立場に関係なく意見を交わせる、風通しの良い職場です」(管理本部 人事課採用・広報担当 岡崎 日登美さん)



安全の中核、品質管理室。

「指先が少し触れるだけでも菌が増えてしまうほど、卵は繊細です。だからこそ、基本を徹底することが何より大切です」

### 危機を乗り越えた「エッグショック」という転機

近年、同社にとって大きな転機となったのが、2023 年に発生した鳥インフルエンザによる“エッグショック”です。国内で約 1,700 万羽が殺処分され、卵の供給が大きく揺らぎました。

多くの液卵メーカーが供給を断念する中、イフジ産業はいち早く海外調達に踏み切ります。ブラジルから卵原料を輸入し、国産原料とは分けて製造・供給する体制を構築しました。

「止めるか、海外から原料を調達してでも供給を続けるか。迷っている余地はありませんでした」

この判断と行動が、食品メーカーからの信頼を大きく高め、「安定供給を任せられる企業」としての評価を確立する結果につながりました。

### 働く人を大切に、フラットな職場環境

現在、イフジ産業では全国で約 600 人が働いており、その約 8 割が製造現場を支えています。粕屋町の本社・福岡工場では、約 150 人が勤務しています。社内の雰囲気について伺うと、返ってきた言葉はともシンプルでした。

「特別なことはしていません。“普通に接する”こと



従業員の連携が、安定した製造現場を支えている。

「特別な趣味はありませんが、読書や散歩が日々のリフレッシュです」

イフジ産業株式会社  
代表取締役社長 藤井 宗徳 氏



を大切にしています」  
役職に関係なく話しやすい、フラットな職場環境。やる時は集中し、休むときはしっかり休む。そんなメリハリのある働き方が、自然と根付いています。また、社内には託児所を設置し、子育て世代の社員が安心して働ける環境づくりに力を入れています。

### 粕屋町とともに歩み、未来へ

粕屋町に本社を構え、全国へ事業を展開するイフジ産業。

近年、人口が増え続ける粕屋町の成長を、企業としても実感しているといいます。

「粕屋町に育ててもらった会社です。雇用や納税、子育て支援を通じて、これからも地域に貢献していきたい」

今年は売上高 300 億円規模に到達する見込み。液卵事業を軸にしながら、M&A や新たな事業にも挑戦し、「粕屋町発の全国企業」として、これからも進化を続けていきます。



イフジ産業株式会社  
粕屋町戸原東二丁目 1 番 29 号



<https://www.iffuji.co.jp/>



社内託児所を完備。長期休暇には小学生も利用する。